

# 序

本書の目的は、1) 看護学生・若手看護師に「急変させない患者観察テクニック」アプリケーションを提供し、2) アプリを使う練習（シミュレーション）をしながら「できる」看護師の基本的な看護実践能力である「急変させない患者観察テクニック」を獲得することにあります。

急変させない患者観察が習慣になれば、看護につきまとう「患者が急変したらどうしよう…」という不安から開放され、看護の楽しさ・素晴らしさを味わう気持ちの余裕が生まれ、看護師のキャリアを継続するモチベーションが向上します。

本書を使った学び方はスマートフォンに新しいアプリをインストールし、アプリを使いながらアプリの応用のしかたを習得していくやり方と同じです。「急変させない患者観察テクニック」のアプリを使うことで効果的（できるようになったことが実感できる）・効率的（短い時間・少ない労力で）・魅力的（楽しく集中して）な方法で「できる」看護師の患者安全能力を獲得します。

本書は日本医療教授システム学会が開発したゴールド・メソッド（GOLDメソッド）を用いて執筆しました。ゴールド・メソッドにより、現場で行う看護実践をホール（全体）として学べる看護実践の教材と、「できる」看護師になりきって看護実践を行うためのツール（スクリプトと知識カード）を作成しました。学習者は情報として提示される模擬患者に対しツールを利用しながら看護実践を経験します。看護実践の一連のプロセスで患者の病状を認識して変化を予測し看護計画を立てたり、観察したことから状況を判断したり、その状況で必要な行動を選択し実行しながら、「できる」看護師の看護実践能力を獲得していきます（アプリを自分の頭の中にインストールしていく・自分の能力に変換する）。

最後に本書を攻略するコツを伝授しておきます。

- ・書かれた文字を読みながら頭の中に患者とその世界をつくり出し、その世界の中で看護実践を行う自分をイメージしてください。
- ・看護実践に「ただ1つの正解」はありません。
- ・看護実践では「こういう場合はこう考えこの計画を採用する」という計画する考え方と、「このような結果になった理由は多分こうだろう」という結果を分析する考え方が必要になります。
- ・クイズやシミュレーションでは、試験の頭で正解を探すのではなく、患者とかかわっている自分のイメージ的な世界の中で「できる」看護師として計画する考え方と分析する考え方を使います。

それでは本書、「急変させない患者観察テクニック」をお楽しみください。

2018年1月

日本医療教授システム学会代表理事  
池上敬一